

教えて!

富山 けいざい



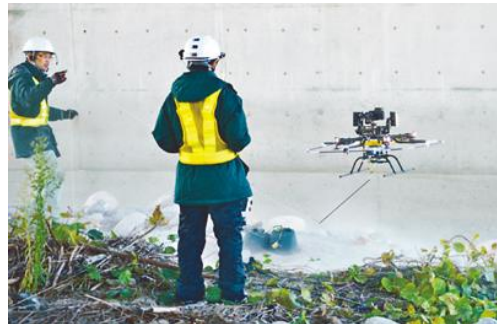
ドローンって?

◆小型の無人飛行機／撮影・橋の点検に活用

ブン子さんは北陸経済研究所（富山市）の楠智也主任研究員に聞きました。

Q－最近よく耳にするわ。

A－小型の無人飛行機で、2000年代後半に登場しました。それ以前から存在したラジコンの模型飛行機や産業用無人飛行機と明確な区別があるわけではありません。動力に電池を使い、マルチコプターという多数の回転翼で飛行し、センサーによる自動制御によって操縦しやすいものをドローンと呼ぶことが多いようです。



Q－普通の人でも使えるかな。

A－業務用の高度なものは価格が高いですが、一般向けでは数万円で販売されているものもあります。スマートフォンの普及に伴い、各種のセンサーが多く出回るようになりドローンへの活用が進んだため、手頃な価格で手に入るようになりました。ただし、飛ばす際には安全性などへの配慮や操作の技術が求められます。また、空港周辺や人口集中地区、人が集まる催し物の周囲など飛行が規制されている場所があります。規制がない場所でも、安全や他人のプライバシーに配慮し、マナーを守って飛ばすことが必要です。

Q－何のために使うの。

A－一般向けに販売されている機種ではデジタルカメラを搭載したものが多く、写真や動画の撮影に使われます。業務用では農薬の散布や土地の測量、人間が近づきにくい構造物の点検などがありますが、まだ活用法が模索されている段階です。実用化はまだ先になりますが、ドローンによる無人の宅配も研究されています。

Q－県内ではどう使われているのかな。

A－富山市の平野電業と北陸電気工事が山間部の送電線の敷設工事に活用したり、川田テクノロジーズ（本店・南砺市）が橋りょう点検に対応したドローンを開発したりという事例があります。北日本自動車学校（富山市）が「富山ドローンスクール」を開校して人材育成を進めるなど、ドローン活用の動きは今後も進みそうです。